

NPO 法人太陽光発電所ネットワーク山口地域交流会
代表世話人 溝田忠人

2011 年度、PV-Net 山口地域交流会（略称 PVNY）は、宇部市地球温暖化対策ネットワークの支援により、エコフェア 2011 in UBE 及び宇部まつりのイベントに参加し、下記の環境教育活動を実施した。

- A. 一般市民への太陽光発電の普及・啓発を目的としたパネル展示など
- B. 児童の自然エネルギーへの関心の啓発を目的としたソーラーカー工作教室の開催

1. エコフェア 2011 in UBE（10月29（土）,30日（日）、ときわ湖水ホール）

A. 太陽光発電の普及・啓発

太陽光発電関連のパネル展示により、太陽光発電の原理とメリット、グリーン電力証書、NPO 法人太陽光発電所ネットワークの活動の紹介を行った。

B. 自然エネルギーへの関心の啓発ーソーラーカー工作教室の開催

子供に太陽光の直接の利用として分かり易く、興味を引く観点から、玩具のソーラーカーの工作を企画した。ソーラーパネル（1V, 380mA）とマブチモーターを装備したプラスチック段ボールとボール紙、竹串などを用いてキットを準備し、PVNY ボランティア指導のもとで一人ずつに作ってもらった。又、紙飛行機をつくり参加者にプレゼントした。エコフェアでは風力発電模型の展示もおこなった。

当日の活動の様子、作製されたソーラーカーの写真、および図面を次ページ以下に示す。材料費は、ソーラーパネル、ソーラーモーター、プラスチック・段ボール、ボール紙の他、接着剤、テープ、塗料など総計1台あたり略1000円必要であったので、1台あたり200円の個人負担をお願いした。キットの準備・作製は全てボランティアによって行われた。

当日は、天候が悪く期待したほど多数の来訪者はなかったが、それでも工作は人気があり48台を作製し、9,600円の収入があった。出来上がったソーラーカーを走らせて満足そうに帰る子どもたちやプレゼントされた紙ヒコウキを飛ばす子どもの姿にスタッフ一同喜びを共にできた。



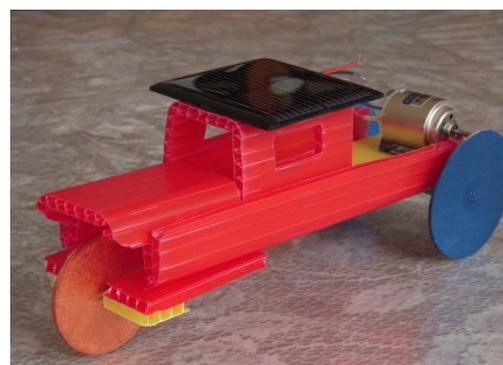
風力発電模型も人気



ソーラーカーの作製



外国のこどももソーラーカー作製



できあがったソーラーカー

2. 宇部まつり (2011年11月6日(日) エコ広場)

A. 太陽光発電普及・啓発

太陽光発電関連のパネル展示(エコフェアと同じ)

B. 自然エネルギーへの関心の啓発—ソーラーカー工作教室の開催

子供の太陽光発電への関心を高める目的で、エコフェアと同じソーラーカーの製作指導を行った。又、紙ヒコウキを作製し、参加した子どもにプレゼントした。

PVNY ボランティアと UNCCA 職員の指導により一人ずつで作製した。自分で作ったソーラーカーが動いたときはみんな大喜びしていた。活動の様子を以下に写真で示す。

材料費は、約1000円かかったので、エコフェアと同様に1台当たり200円の自己負担をお願いした。当日は、25台の作製が行われ5000円の収入があった。

以上



お父さんしっかり見てて



一生懸命に作製



女の子も作ってます



エコ広場 PVNY ブース